

令和5年度第2回鹿児島県再犯防止推進会議の開催結果について

(1) 第2次鹿児島県再犯防止推進計画（素案）について

【事務局（青少年男女共同参画課長説明）】

- ・ 第2次鹿児島県再犯防止推進計画（素案）について説明

【質疑応答】

- ・ 宇都宮会長（鹿児島大学大学院臨床心理学研究科）
成果指標の数値目標を20パーセントで設定しているが、鹿児島県の検挙率等は、おおよそ横ばいであり、激減しているわけでもない様子であることから、達成するとなると厳しいところもあるが、妥当だと思う。
- ・ 岩崎委員（県保護司会連合会）
県で計画を作っていたが、県保護司会連合会が委託を受けて、再犯防止の県民への啓蒙活動、対象者の居場所づくりということで、予算もつけていただいて5年目に入っており、保護司会と県との連携も確実に図られるようになっている。
また、市町村が再犯防止推進計画を策定したことで、市や担当課の方が、以前にも増して一生懸命取り組んでくださっているのだから、計画を作っていたありがたいと思っている。
- ・ 宇都宮会長（鹿児島大学大学院臨床心理学研究科）
県としては、最終的には、全市町村にこの再犯防止推進計画を策定していただくような構想を持っているのか。
- ・ 事務局（青少年男女共同参画課）
取り組み度合というのは、市町村によってマチマチであるが、働き掛けてまいりたい。
- ・ 長野委員（県更正保護女性連盟）
再犯防止は、やはり市町村が具体性があり、元になると思うが、再犯防止推進計画の策定は何年以内にしないといけないとかがあるのか。
また、学校との調整及び矯正施設との連携、修学支援の実施というものが、具体的にどういうものか知りたい。
- ・ 事務局（青少年男女共同参画課）
市町村の再犯防止推進計画に関して、現時点では8市町が既に策定済みであり、今年度中に、8つほど、計画策定に向けて取り組んでいるところがあると聞いているが、市町村によっては、地域福祉計画の中を含んだ計画となっているところもある。
今年度は、市町村再犯防止推進ネットワーク会議を新規事業で行い、そこで取組状況の共有や計画策定に向けた働き掛けを行っていきたい。
学校との連携に関しては、県警や学校など関係機関との連携・情報共有、相談体制の充実、スクールサポーターや少年サポートセンターを通じた非行の防止と立ち直り支援、学校関係者やその指導等に当たる人達も含めた適切な指導等の実施を一層推進していく。

- ・ 長野委員（県更正保護女性連盟）
 先日、若駒学園の文化祭に出向き、生徒たちの考えを聞いて、先生たちが子供たちの目線で、体当たりでやっておられて、先生たちの努力を非常に感じる取ることができた。
 県下の学校との連携のための、詳しい、具体的な政策が必要だと思う。
- ・ 事務局（青少年男女共同参画課）
 学校現場の方での細かい取組みもあるので、それがどのように実施されているのかというところを、関係各課と連携し、また、教育委員会内でも連携していただくことを進めていきたい。
- ・ 木村委員（鹿児島少年鑑別所）
 非行防止とか立ち直り支援のところ、個別のケースでなかなかうまくいかないとかいったケースがあれば、非行とか犯罪に至る入口のメカニズムとか、そこからの立ち直り支援等について、ノウハウとかいろいろなテクニックとかを持っているので、相談して活用していただければと思う。
- ・ 深野木委員（草牟田寮）
 様々な参考指標があるが、これの評価の仕方はどのように考えているのか。
 就労・住居の確保のところ、多様な業種の登録が必要というのが、協力雇用主に対してあるが、もう少し具体的なことを入れていただきたい。
- ・ 松下委員（県就労支援事業者機構）
 協力雇用主の7割が建設業となっているのには理由があり、県の方が、公共工事入札の優遇措置を講じていることがある。
 人手不足の業種については、建設業のほかにも、介護職などがあり、開拓に努めているが、やはりトラブルを非常に危惧しているところが現状である。
 しかし、介護職は何かその資格でもあれば福祉ができるというところで、是非この資格取得についてご検討いただきたい。
- ・ 事務局（青少年男女共同参画課）
 参考指標については、1年ごとに数値を県の方で調査し、その数値から、具体的な問題点といったものがわかり、また、このデータを見ることで、県の重点課題に対する取組状況がどの程度成果を上げているのかというのを見ることができる。
 就労支援と協力雇用主の確保等については、協力雇用主に雇用された人の数は、いずれも増加しているものの、建設業に偏っている割合が多く、協力雇用主制度の周知とか、例えば農福連携といった、違う分野での連携を広げていくようなこともあるが、今後、パブリックコメントや各市町村への意見照会を行い、検討していきたい。
- ・ 豊留委員（県地域生活定着支援センター）
 私たちのところに来る人達というのは、高齢で障害者というところが増えており、なかなか介護保険にも繋がらない方達をどうするかが課題であるが、例えば、岐阜には国立経営の学校があり、そこでヘルパー2級の資格を取るという方法がありますとか、そういったサービスを進めている。

(2) その他

【事務局（青少年男女共同参画課長説明）】

- ・ 第2次鹿児島県再犯防止推進計画策定に係るスケジュール（案）について説明

【質疑応答】

- ・ 宇都宮会長（鹿児島大学大学院臨床心理学研究科）
市町村に意見照会をかけるということであるが、教育委員会等への意見照会は特に行わないということによろしいか。
- ・ 事務局（青少年男女共同参画課）
教育庁、教育委員会の方に関しては、庁内で意見紹介しているが、各学校個別というところまでは行わない。
- ・ 岩崎委員（県保護司会連合会）
12月22日に県民交流センターで再犯防止推進フォーラムを開催するので、見学等していただけたらありがたい。